



別高NOW!!!



インフルエンザが流行しています。体調管理に気をつけて過ごしましょう。

皆さん、今年も残りわずかとなり冬の寒さが本格的になってきました。

この時期に心配なのがインフルエンザ。油断していると、静かに近づいてくる“冬の忍者”です。

そこで鍵になるのが、体を守る“免疫力”。その免疫力を支えてくれるのが“ビタミンD”です。ビタミンDは体の防御力を高め、インフルエンザに負けにくい体づくりを助けてくれます。特に、受験を控えている中学校3年生のみなさん。体調管理も“受験対策”的のひとつです。元気な体が最高の集中力を生みます。

ビタミンDクイズ

- ビタミンDが特に多い食品はどれでしょう？
A) 鮭 B) レタス C) りんご
- ビタミンDを体の中でつくるために必要なのは？
A) 日光 B) 大声で笑う C) 早寝早起き

答えは裏面で！

後期中間考査終了

11月の26～28日の3日間で後期中間考査がありました。本校では、考査の1週間前になると基本的に部活動は行いません（一部例外あり）。そのため、部活動に加入している生徒も勉強に集中できます。

放課後は、教室に残って勉強する姿が多く見られ、テストに向けて一人ひとりが真剣に取り組んでいました。友人同士で問題を出し合ったり、先生に質問したりと、前向きに学習へ取り組む姿が多く見られました。

今回の考査で得た手応えや反省点を、今後の学習につなげてほしいと思います。



ここからは、酪農経営科特集 です。普段どんなことを行っているかお伝えします。

キッチンカー製作

現在、酪農経営科の2・3年生のうち、乳製品加工班に所属する生徒たちは、課題研究の時間にキッチンカーの製作を進めています。

完成後は、このキッチンカーで商品を作り、販売することを予定しています。

キッチンカーの形や色などのデザインについても、生徒たち自身で話し合いながら工夫し、力を合わせて仕上げています。作り終えたら実際に地域へ出向き販売に挑戦したいと考えています！



農業クラブ役員選挙

11月6日（木）に農業クラブ（農業を学ぶ高校生の全国組織）役員選挙が行われました。

選挙の結果、、、新農業クラブ会長は1年D組渡邊芯太朗さん（虹別中出身）が選ばれました！

以下、渡邊さんのコメントです。

「この度、農業クラブの会長になりました渡邊芯太朗です。自分が会長に立候補した理由は、少ない人数でももっと競争してお互いを高め合っていきたいと思ったからです。会長としての経験はないですが、自分が引っ張っていく気持ちで責任を持って行動していきます。」



シクラメン販売！！



12月2日（火）、本校にてシクラメン販売を行いました。当日の販売には、酪農経営科の2・3年生が協力して取り組みました。

本来は2日間の販売を予定していましたが、好評につき1日で完売となりました。

シクラメンには「はにかみ」「思いやり」などの花言葉があります。生徒が心を込めて育てたシクラメンが、ご購入いただいた皆さまの暮らしに、そっと彩りを添えてくれることを願っています。

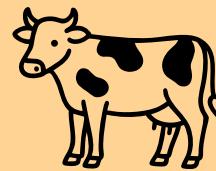


農業技術検定 受検

12月6日（土）に、酪農経営科の2年生が農業技術検定を受験しました。農業技術検定とは、農業に関する知識・技術を客観的に測るための全国的な検定試験で、農業を学ぶ高校生や農業に関わる社会人が多く受験しています。

この受験に向けて、生徒たちは放課後や土日を利用して学習に励み、互いに協力しながら理解を深めてきました。当日は緊張も見られましたが、これまでの学びを落ち着いて発揮していました。

今回の取り組みを通して培った知識と努力する姿勢が、今後の実習や学校生活にも生かされることを期待しています。



ビタミンDクイズ

答え

- 1:A) 鮭
2:A) 日光

風邪予防のために、日光をしっかり浴び、食事にも気を付けて過ごしましょう。

※クイズは前面にあります。

道東あさひ様から新パッケージ牛乳をいただきました！

この度、酪農経営科の生徒は JA道東あさひ様より、新パッケージの牛乳「プリミエ・リッチ・ミルク」をいただきました。

パッケージデザインは、ミルクハウスの看板と同じく OVER ALLs 様が手がけたもので、女性の顔が描かれたおしゃれな仕上がりとなっていました。生徒たちも思わず笑顔になるような素敵なデザインでした。



【校長連載シリーズ⑤ 牛舎改築】

二校目の帯広農業高校では、牛舎の改築を任せられることになりました。寮の宿直をしていたある晩、当時の校長が突然現れ、「牛舎に予算が付いたから、よろしく頼む」とだけ言い残して、さっと帰っていったのです。翌日、詳しい話を聞くと、工事は十数億円規模。あまりの大きさに、思わずめまいがしたのを覚えています。それからというもの、本当に目の回るような日々が続きました。何十か所もの農家の牛舎を視察して回る中、恵庭の福屋牧場を訪れた際、つい愚痴をこぼしてしまいました。すると、当時の福屋修造先生がこう諭してくださいました。「40年に一度の工事をさせてもらえる君は、むしろラッキーだよ。こんな経験はめったにできないし、普通の人が学べないことを学ぶチャンスだ。」この言葉が胸に響きました。その日以来、どんな出来事にも学びの要素があり、自分の心がけ次第で何事も学びに変えられるのだと考えようになりました。

